



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和元年
(2019年)
7月25日

第27号

第17巻第1号
年2回発行

主な記事

- 巻頭 国際貢献する「生きた人材育成」を進める
報告 タイ・スタディツアー報告
平成30年度事業報告
その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953
<http://www.reitaku.or.jp>
発行人・木下廣太郎／編集人・横山守男

国際貢献する 「生きた人材育成」を進める

一般財団法人 麗澤海外開発協会

会長 廣池 幹 堂



麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎（法学博士・1866～1938）の遺志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）、外務省所管の財団法人として設立されました。以来、半世紀近くにわたって開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には内閣府より「一般財団法人」として認可されました。今日までご支援を賜

りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、当協会の副会長でラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠した「竹原基金」を設置して、貧困等の理由で学校に通えないアジアの子供たちへの教育支援を進めています。平成26年度からはアジアからの留学生招聘事業も行い、現在5人目の留学生としてネパールのバラミ・イッチャさんが麗澤大学の別科日本語研修課程で学んでおり、今年の9月には新たにラオスから1名を招聘する予定です。

さらに、わが国の青少年の育成に資するべく、タイ、ラオス等へのスタディツアーも実施しています。参加した学生・生徒・青年は、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して、国際協力についての理解を深め、国際貢献の場で活躍するための知識と心を大きく育てています。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今後もささやかではありますが、これまでの実績を踏まえ、国際貢献する「生きた人材育成」に力を入れ、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

第15回 タイ・スタディツアーを開催

平成31年2月19日から2月27日までの9日間、麗澤海外開発協会（RODA）では、今年で15回目となるタイ・スタディツアーを開催しました。参加した麗澤大学生9名は、当協会の長年の支援先であるメーコック財団や、ルンアルン（暁）プロジェクトなどに滞在し、それぞれの活動を学びながら、子供たちとの交流やボランティア体験を通してさまざまな気づきを得ることができました。直に現地の方々の優しさに触れ、異文化を体験し、このスタディツアーでしか得られない体験ができたのではないのでしょうか。



ルンアルン（暁）プロジェクトが管理するコーヒー農園では、有機農法によるコーヒーの栽培・販売を通して、地域での持続可能な生活向上をめざして活動しています。

メーコック財団でのボランティア活動では、シャワー室を増設するため、セメントを作り、バケツリレーでセメントを床部分に流し込み、ブロックを運ぶという作業を子供たちと一緒に行いました。慣れない学生を、メーコック財団の子供たちが優しくリードしてくれる姿もあり、共同作業をしながら子供たちとの距離が縮まってきました。



今回の観光では、ワットロンクン（白い寺）とワットロンスアテン（青い寺）という、斬新なデザインのお寺に行きました。

参加者の声

～感想文より抜粋して紹介いたします～



麗澤大学ドイツ語・ドイツ文化専攻1年 下谷優花

タイ・スタディツアーに参加したことで、私の視野は大きく広がりました。普段体験できないこと、日本で生活しているだけでは見えてこないことなど、さまざまなことを知り、経験することができました。あまり積極的な性格ではありませんが、タイ・スタディツアーに参加して一つ成長した自分は、これからは臆することなく、いろいろなことにチャレンジし、たくさんのものを吸収したいと思うようになりました。

麗澤大学国際交流・国際協力専攻1年 阿久津七聖

ルンアルン（暁）プロジェクトとメーコック財団での体験・活動を通して一番感じたことは、月並みな感想だと思いますが、みんな優しいということです。暁の家ではお別れの時にずっと手を振ってくれていたり、メーコック財団では子供たちが自ら手伝いをしたり、言葉が通じない私たちとなんとかコミュニケーションを取ろうとしてくれたりと何度も感激しました。今回初めてボランティア活動をした私は、微力ながらも誰かの役に立ち、やりがいを肌で感じたこの感覚を忘れないように今後の人生に生かしていきたいと思いました。



麗澤大学国際交流・国際協力1年 浅木麻衣

スタディツアーでは観光だけでなく、メーコック財団で数日間過ごしたことも大切な思い出です。メーコック財団の子供たちは元気いっぱい、思いやりにあふれていました。この思い出を「楽しかった」で終わらせるのではなく、子供たちの生い立ちや事情をきちんと知った上で、今後も交流を続けるべきだと思いました。

毎年安全に開催することができているこのスタディツアーは、メーコック財団のアノラック・チャイスリンさん、ルンアルン（暁）プロジェクトの中野穂積さんのご協力があってこそです。このような学びの場をご提供いただき、ありがとうございます。

麗澤大学 国際協力団体 Plas+ カンボジアの3小学校で出前授業を実施

平成31年2月5日から2月20日まで、麗澤大学国際協力団体 Plas+（プラス）は、第5回カンボジア渡航研修を行いました。今回の渡航では、麗澤海外開発協会（RODA）の資金援助によって建設された3小学校を訪問し、各校を拠点にして出前授業を実施しました。



ベン・ロヴィア・レー小学校での団扇〈うちわ〉づくり

「トム・オー小学校」

昨年寄贈した塀の完成セレモニーから約1年が経過しましたが、塀が壊れずに保全されていることに安堵しました。今回、トム・オー小学校では交流を目的とした科学の授業と、交通安全の授業と運動会を行いました。

交通安全の授業では昨年完成した塀の扱い方やケアの方法を子供たちにも知ってもらいたいと考え、『みんなを守ってくれる塀をきれいに、大切に』と題した劇を行いました。



交通安全の演劇(トム・オー小学校)

「トラム・クラ小学校」



チーム対抗リレー

建設以来、交流が途絶えていたトラム・クラ小学校との関係構築ため、運動会、科学、交通安全の出前授業を行いました。運動会では、準備運動、玉入れ、チーム対抗リレーを行いました。

「ベン・ロヴィア・レー小学校」

Plas+メンバーが以前、この小学校を訪れた際に「日本文化の授業をしてほしい」という要望があり、今回それを行うことになりました。

初めに、写真を見せながら日本の四季について説明しました。また、日本の小学生がつくった「ちぎり絵」と、子供たちの手形でできた桜と紅葉の2枚の作品を見せ、小学校にプレゼントしました。次に、団扇を紹介し、団扇の用途や様々な形があることを子供たちに伝えました。その後、日本伝統の遊びである折り紙を用いてオリジナルの団扇づくりを行いました。



日本文化を紹介しました

「今後の活動」

今回、3小学校を訪門し、校長先生や先生方にニーズ調査を行いました。主なニーズとしては小学校の校舎の増築や図書館の建設などがあるなかで、日本語の出前授業などの要望もありました。このことから私たちPlas+は、“大学生”だからできることや“Plas+”だからできることを考えていく新しいプロジェクトを立ち上げます。

また、麗澤大学と3小学校の継続的な交流として出前授業や運動会を行いたいと思っています。

〈麗澤海外開発協会の奨学生招聘事業〉

麗大別科で学んだブンタヴィー・サイヤーさん

国費留学生として京都大学で学んでいます



麗澤海外開発協会 (RODA) では、平成 26 年度より東南アジアからの留学生招聘事業を実施しています。

平成 28 年から 3 人目の留学生として麗澤大学別科日本語研修課程で学んだブンタヴィー・サイヤーさん。昨年度の文科省の国費留学生に見事合格。今年から京都大学の研究生として日本語の研究に取り組んでいます。

皆様こんにちは。麗澤海外開発協会の奨学生として、麗澤大学の別科日本語研修課程で平成28年から29年まで勉強したブンタヴィー・サイヤーと申します。皆様には大変お世話になりました。

麗澤大学で1年間日本語を学び、大変貴重な経験をさせていただきました。ラオスに帰国後、ラオス国立大学文学部日本語学科の先生方や同級生に「日本語レベルがすごく上がりましたね」と何回も言われました。一年間の留学はあっという間に終わりましたが、この期間に日本語だけではなく、日本の社会や日本での生活経験なども非常にいい経験になりました。

私は、別科を修了した後、ラオス国立大学に戻り、昨年8月に卒業しました。しかし、これぐらいの日本語能力では、まだまだ足りないなと思い、またいつか日本に留学したいという気持ちが出てきました。そして、日本の文部科学省の国費外国人留学生の奨学金に合格し、この4月から京都大学文学部で研究生として勉強することになりました。その後は修士課程への進学を希望しています。

大学院修士課程に入ることができたら、日本語の「オノマトペ」について研究したいと思っています。オノマトペは日本語の「擬音語・擬態語」です。擬音語は音・声を表す言葉です。例えば犬の鳴き声は「ワンワン」、雨が降っている音は「ザーザー」のような言葉です。そして、擬態語は物の状態などを表す言葉です。「指輪がピカピカ光っている」のようなものです。これから、オノマトペを研究していきたいと思っていますので、今後、オノマトペについて日本人の皆様から様々なことをお聞きしたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

— 平成30年度 事業報告 —

1. 支援事業について

- (1) タイ北部チェンライ県で、生活が困窮している少数民族の児童に対して生活・教育支援施設の運営事業を実施している「メーコック財団」に対して助成を行った。
- (2) タイ北部チェンライ県で、農業技術指導と教育支援を行っている「ルンアルン（暁）プロジェクト」に助成した。
- (3) 東南アジアからの留学生への支援を行った。
 - ① ラオス国立大学文学部日本語学科から留学生を次のとおり招聘した。
 - ・氏名 ルアンアパイ・ハナコ (LUANGAPHAY Hanako) 21歳 女性
 - ・留学先 麗澤大学 別科日本語研修課程
 - ・期間 平成30年4月1日～平成30年8月7日
 - ② ネパールから留学生を招聘した。
 - ・氏名 バラミ・イッチャ (BALAMI Iccha) 19歳 女性
 - ・留学先 麗澤大学 別科日本語研修課程
 - ・期間 平成30年10月4日～平成31年3月31日
 - ③ 麗澤大学が受け入れを行っている、ブータンからの留学生に対して支援を行った。

2. スタディツアーについて

- (1) 東南アジア諸国で活動する支援団体等の現状を視察し、海外ボランティア活動に理解を深めるためにスタディツアーを実施した。
 - ① タイ・スタディツアー
 - ・訪問先 タイ（メーコック財団、ルンアルン（暁）プロジェクトほか）
 - ・日程 平成31年2月19日～2月27日（9日間）
 - ・参加者 10名（引率＝桑島朋子事務局員）
- (2) 麗澤各校が主催するスタディツアーへの支援と協力をを行った。
 - ① 麗澤高等学校タイ・スタディツアー
 - ・訪問先 タイ（バンコク、チェンライ）
 - ・日程 平成30年12月21日～12月29日（9日間）
 - ・参加者 15名（引率＝折笠教諭、高橋教諭）
- (3) 麗澤大学の学生が企画した海外ボランティア活動に助成を行った。
 - ① ネパールのゴミ問題について、啓発活動やワークショップを行った。
 - ・団体名 Be a Bridge!
 - ・訪問先 ネパール（カトマンズ）
 - ・日程 平成30年8月23日～8月30日（8日間）、参加者6名
 - ・日程 平成31年2月26日～3月9日（12日間）、参加者6名
 - ② 麗澤海外開発協会がカンボジアに寄贈した小学校において、出前授業や運動会を行い、生徒や教員と交流した。
 - ・団体名 Plas+ (Present Love to all students すべての子供たちに愛を)
 - ・訪問先 カンボジア（トム・オー小学校、トラム・クラー小学校、ベン・ロヴェア・レー小学校）
 - ・日程 平成31年2月5日～2月20日（16日間）
 - ・参加者 19名

3. 研究・調査について

- (1) ネパールの支援先等を訪問し、現地の現状を視察し今後の方針についての打ち合わせを行った。
 - ・訪問先 ネパール（カトマンズ、アネコット村等）
 - ・日程 平成30年11月25日～12月2日（8日間）
 - ・訪問者 木下太郎、甲良 昭彦

4. 広報活動について

- (1) ニューズレター第25号（発行日：平成30年8月5日）第26号（発行日：平成31年3月15日）を発行した。
- (2) ホームページを更新した。

5. 出展活動について

当協会の活動に理解や支援者を募るため、会員の募集や写真展示等を行った。

- (1) 「伝統の日・感謝の集い」
 - ・日程 平成30年6/2、6/3・場所：廣池学園中央広場

6. 賛助会員等の募集状況について

- (1) 賛助会員、寄付金、竹原基金の募集を行った。
 - ① 賛助会員 112件（個人105件、団体7件）
 - ② 準会員 22件
 - ③ 寄付金 126件
 - ④ 竹原基金 60件

平成30年度 正味財産増減計算書

(単位:円)

経常収益の部		経常費用の部	
① 基本財産運用益	185,796	I 事業費	
② 特定資産運用益	2,225,676	① 消耗品費	5,205
③ 賛助会員受取会費	1,970,000	② 通信運搬費	159,002
④ 準会員受取会費	48,000	③ 旅費交通費	56,926
⑤ 受取寄付金	999,898	④ 食費宿泊費	3,488
⑥ 受取竹原基金寄付金	718,581	⑤ 海外旅費	1,882,632
⑦ 受取ツアー参加費	1,170,000	⑥ 報酬委託手数料	10,000
⑧ 受取利息	34	⑦ 広報活動費	181,440
⑨ 雑収益	0	⑧ 雑費	19,724
経常収益合計	7,317,985	⑨ 支払助成金	3,042,446
		事業費合計	5,360,863
		II 管理費	1,794,654
		経常費用合計	7,155,517
		当期正味財産増減額	162,468

たくさんのご支援ありがとうございます

<平成30年4月1日～平成31年3月31日> 掲載を同意された方をご紹介します。(順不同)

■会費

廣池幹堂, 木下廣太郎, 関哲夫, 甲良昭彦, 山口明, 大橋政夫, 野田ミート(株), (株)ピアかざりや, 新井秀啓, 内田八代, 長谷和治, 竹原茂, 土谷和光, 荒木郁雄, 渡辺康博, 栗山清和, 横山守男, 山本祥子, 柏谷康博, 橋本半兵衛, 大谷誠之, 望月靖子, 横山印刷(株), 今井收, 所一彌, 長谷篤治, 山田雅雄, 佐藤薬品工業(株), 山本浩, 小野剛, 松本哲洋, 小西直之, 藤村薫, 望月一雄, 古川定邑, 俣野幸昭, 桑島義智, 小嶋義佑, 長谷川和子, 東海林新彦, 井上源一, 堀内一史, 太田徳昭, 今木康之, 増田一江, 水田恵一郎, 小林雅純, 永治達彦, 島田京子, 濱井利一, 野田雅義, 福井博康, 桑島朋子, 平塚靖永, 須見好和, 有限会社 弘明堂, 松岡孝終, 三木実, 木津孝道, 河村満, 松本彰夫, 澤田栄作, 堀勝三郎, 岸上肇, 菅間正則, 岩田英志, 横山明弘, 山口秀正, 菅澤運一, 福田靖久, 長谷真千子, 藤尾侑男, 田中一宏, 板垣廣光, 田中聖則, 新井日出子, 北川治男, 村瀬泰比古, 鈴木貞夫, 小金井暁子, 森口真美, 淡島成高, 八代京子, 長谷享治, 小峰進, 肥塚憲造, 青木久子, 世田谷北沢モラロジー事務所, 伊藤温夫, 伊藤豪人, 田口英樹, 加藤純一, 関口輝比古, 山田荘一, 奥光明, 富士俊隆, (株)タケスエ, 能勢千晴, 早河順子, 塚谷仁志

■準会費

望月敏雄, 阿折淑子, 俣野喜代美, 大山圭子, 長谷憲治, 佐藤惇, 高野橋健吉, 安田誠一, 野川裕史, 尾崎哲子, 森口暢啓, 小野俊宏, 伊能莉花, 森垣ほのか, 下谷優花, 浅木麻衣, 丹羽真心, 阿久津七聖, 本間愛由, 藤内麻菜華

■一般寄付金

廣池幹堂, 山口明, 大橋政夫, 内田八代, 長谷和治, 渡辺康博, 横山守男, 望月賢一, 橋本半兵衛, (株)ダイキョーブラザ, 所一彌, 長谷篤治, 山田雅雄, 俣野幸昭, 山崎純雄, 小嶋義佑, 長谷川和子, 東海林新彦, 大住敬一, 加藤義彦, 福井博康, 荻野益男, 井上照悟, 神田和, 風澤俊夫, 木崎重安, 俣野智美, 大山圭子, 杉山雄彦, 橋本光世, 山田武司, 肥塚憲造, 青木久子, 伊藤温夫, 相生モラロジー事務所, 東京港モラロジー事務所, 麻野純一, 石黒美恵子, 井上景介, 井上貢一, 笠田環嗣, 勝野高志, 加藤栄一郎, 加藤信次, 神永正男, 上萩洋三, 北敬子, 橋高重久, 小此木富士夫, 早乙女静子, 榊原佐枝, 佐藤孝幸, 澤田修一, 島崎執, 鋤柄誠治, 関俊章, 高野橋弘, 内藤元彦, 西村秀喜, 増田顕次郎, 松島利允, 三浦洋嗣, 三上ハツミ, 美津島モラロジー事務所, 光安輝雄, 宮田敏子, 御代川克之, (株)三国一, 三信(株), 大阪旭モラロジー事務所, 大阪和泉モラロジー事務所, 大阪柏原モラロジー事務所, 春日部モラロジー事務所, 高浜モラロジー事務所, 静岡県モラロジー協議会女性クラブ, 高松モラロジー事務所, 津山モラロジー事務所, 横浜モラロジー事務所, 若狭モラロジー事務所, 廣池学園まんりょうの会

■竹原基金

廣池幹堂, 山口明, 内田八代, 長谷和治, 竹原茂, 荒木郁雄, 横山守男, 山本祥子, 柏谷康博, 所一彌, 長谷篤治, 山田雅雄, 山本浩, 大垣モラロジー事務所, 俣野幸昭, 桑島義智, 小嶋義佑, 長谷川和子, 東海林新彦, 島田京子, 福井博康, 荻野益男, 桑島朋子, 三木実, 山川香, 澤田栄作, 岩田英志, 横山明弘, 俣野智美, 大山圭子, 森口真美, 青木久子, 伊藤温夫, 山田荘一, 四日市西部モラロジー事務所, 片山道則, 神永正男, 桑島祥子, 小林一正, 鋤柄誠治, 長谷川卓司, 三浦洋嗣, 支援キルトの会ふーぶ, 大阪和泉モラロジー事務所, 浜松西モラロジー事務所, 宮城県北部モラロジー事務所

《会員・準会員募集中》

麗澤海外開発協会は皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。
会員および準会員を募集していますので、是非ご入会いただきますようご案内いたします。

種 類	年 額
会 費	1口1万円 (1口以上)
法人会員	1口1万円 (1口以上)
準 会 員	1口2千円 (1口以上)
寄 付 金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ 銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人

麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL：04-7173-3165

FAX：04-7173-8953

E-mail：kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP：http://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。